

ているところ。（2）地域とのつながりとアットホームな存在感がGoodでした。

- * 様々な活動を行う中で、口腔ケアに対する考え方や、心掛けがとてもしっかりとしていた。
活動の種類が多いと、一つ一つが中途はんぱになりがちだが、話を聞いていると、しっかりとやっていて、私の施設も見ならいたい。

【事務】

- * 各施設の状況がよくわかりました。ありがとうございました。

【ピアスタッフ】

- * 身体知的の事業所との交流がなかったので発表者のわかりやすい説明で理解がすすみました。
各事業所が真剣に歯科・口腔衛生活動に取り組んでいることを知り、感動しました。「継続は力なり」しっかり心に入れて帰ります。

【その他】

- * 全ての施設で特色のある取組みをなさっていました。

地域活動支援センター れん 連

【介護職・支援員】

- * 私の施設では、支援者側がアプローチすることが多いので、一緒に体操する、という発想がとても新しくおもしろいなと思いました。

泊江支援センター ポンテ

【医師】

- * 歯科医師、歯科衛生士等専門職との連携がよくとられている。

【歯科衛生士】

- * 看護師さんのお話だったからかもしれません、医療面、特に他職種の専門職との連絡などとてもよく活動されている感じでした。
- * 障害者施設だけでなく他施設でも口の開け方など取り入れていきたいと思います。利用者さん達の口腔ケアの仕方勉強になりました。
- * どの施設も、それぞれ工夫されているお話を聞きでき参考になりました。“継続すること”的大切さを改めて教えていただきました。ありがとうございました。
- * 継続することが習慣につながり、日々の生活にプラスになってきているのがよくわかりました。

【看護師】

- * 地域との関係が深くとてもすばらしいと思いました。
- * 連けいについて、先を見据えている、口腔マッサージなど。
- * 医療的ケアをとり入れている施設であることで関心を持ちました。
- * 取り組みが広く、具体的によくみえました。（長期的に）
- * 同じように重度の施設ですが、なかなかきめ細やかなケアができるない状態なのですばらしいと思いました。

【介護職・支援員】

- * 行政とのつながり、そこから支援に結びついている事が印象的でした。
- * どの施設も食後の歯みがきや、口内マッサージなど、しっかりしていて、それが「食べる」ということにつながっているんだと分かりました。

【教諭・養護教諭】

- * 学校を卒業したあとに子どもたちが施設でどのような活動を行うのか知ることができた。学